

平成28年度第3回南丹市社会教育委員会議 会議録

日時 平成28年7月12日（火）午後2時30分～午後5時00分

場所 南丹市八木公民館 2階 集会室3

会議出席者（順不動、敬称略）

社会教育委員 麻田健治、宇野齊、大嶋久美子、岡島賢峰、加茂恵津子、北村友子、
小南仁、清水範子、富田陽子、中野愛子、永井正人、三觜宏孝、
市教育委員会 岸本教育次長、後藤教育参事、浅田課長補佐、辻課長補佐、大塚係長、
奈木野主事、森社会教育主事

傍聴人数 0名

1. 開会 司会（事務局）

2. あいさつ 中野代表

3. 報告事項 第1回第2回会議概要並びに今後のスケジュールについて

資料により説明し、第1回社会教育委員会議でご意見をいただいた園部公民館大ホール閉鎖に伴う使用予定団体への支援策を検討いただくことを提案した。

4. 協議事項

園部公民館・八木公民館の今後の在り方について

—園部公民館大ホールの閉鎖に伴う今年度の対応について—

主な質疑・意見

○園部公民館大ホールを使用していた団体は現在どうしているのか。

→問い合わせのある団体は、園部管内の団体であれば国際交流会館を、劇場型施設を希望の団体には日吉町生涯学習センターを基本的には紹介している。

○国際交流会館もギャラリー亀岡と同じような料金設定はできないか。

→条例で定められているためすぐに変更はできない。

○既に国際交流会館を使用しているところに対してどうするのかなど、難しいところがある。そのところは考えないといけない。

→公民館の利用の実績は、文化協会登録サークルの使用が多いことから、南丹市文化協会を通しての支援を検討している。これについても意見をいただきたいと考えている。

- 使用料の支援の在り方については、事務局案の内容で検討すればよいと思う。
- 使用する側としては援助があれば利用しやすくなると思う。
 - 補助割合もいろいろあるが、一つ目は一定金額を補助する、二つ目は払った使用料の半額を補助する、三つ目は支払った金額のうち、園部公民館大ホール使用時の料金を団体負担として残り分を補助する割合を考えている。補助の割合については、事務局として検討するので、ここでは基本的な考え方についてご意見をお願いしたい。
- 三つ目は、交流会館には損はないが市の収入がなくなり、補助金としての支出が増えることになるのであれば、税金を沢山使うということになるので市民の立場としてはいかなものかと思う。
- 補助金ではなしに、特例として国際交流会館の使用料減免はできないのか。
 - 社会教育課所管施設ではないため、施設管理担当課と調整を行う予定である。
- 今までの実績は大切だと思う。
- 利用者なら負担してもらわないといけないのではないか。基本的に減免はなしとして良いと思う。全額補助しますというのはいかがでしょうか。
- 今回大事なことは、急に文化活動の環境が変わったということ。文化活動が下火になって他へ流失していくようなことがあってはならない。行政支援を含め何らかの手立てをしているというメッセージを伝えていくことが大切だと思う。
- 今回の支援については、文化協会登録団体について支援することでよいと思う。
- 園部公民館の時には、準備から本番まで2、3日予約することもあったが、本番の日だけを対象にするので良いのではないか。公民館以外を使用することでサークルも負担を減らすため会場使用についても工夫をするだろう。
- 公民館の使用料にこだわる必要はないのでは。国際交流会館の料金の半額という方が分りやすいと思う。
 - 支援の方法としては、これまでいただいたご意見をまとめると、使用団体の自己負担も必要であるということと、金額については事務局に一任をお願いし、対象施設は国際交流会館のイベントホール・コスモホールということで意見をまとめさせていただきます。(委員承認)
- 公民館の件も大事だと思うが、市全体の社会教育としての動きも把握しておくべきで、小学校のコミュニティースクールや学校支援地域本部事業の件などがあり「地域で支え、地域で育てる」その辺りも大切なことだと思うので、周知することも大事だと思う。

5. 閉会あいさつ 清水副会長

会議終了後、八木支所3階の会議室等を見学し解散した。